

〔派 遣〕

派遣研究者	広島市立大学 情報科学研究科 博士課程 村上 泰樹	2022108
研究集会名 出張期間 開催場所	The 7th International Conference on Innovative Computing, Information and Control 平成24年11月4日～平成24年11月7日 中国 上海市	
発表論文	Relationship between psychologically estimated cochlear input-output functions and physiological function 心理学的に推定された蝸牛の入出力特性と生理学的機能の相関性	

概 要：

現在の情報技術は、先進的な発展と共に、すその部分の発展にも及んでいます。このことが、情報技術に対する敷居を低くしています。これにより、従来は情報技術の習得を不得手としてきた研究者が容易にその技術を習得することができるようになりました。本会議では、そのような研究者が人にやさしい情報技術の研究について活発に議論しました。これらから、財団の趣意である人と機械の調和について議論を行うことができました。

本会議で、申請者は人の聴こえに基づく先進的な補聴機器の開発のための聴覚系に関する基礎研究について発表を行いました。発表内容は基礎研究から応用研究にまで多岐に及び大変な刺激になりました。その中で、特に基礎研究を産業応用していく過程については、今後の申請者の研究を発展させていく上で非常に参考になりました。その中で、申請者が提案している数理モデルの利点と欠点が明らかになりました。そして、どの利点を生かしていくことで申請者の目的が達成されるかが明らかになってきました。また、産業応用だけでなく医学応用への波及効果も示唆できることが明らかになりました。これは、今後発展が期待されている再生医療に対する応用です。

本会議を通じて、申請者の提案する数理モデルを産業・医療応用していく道筋が生まれたことは大きな成果です。